

令和7年度進行管理・評価シート

太宰府市 歴史的風致維持向上計画 第2期(令和5年3月29日認定)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制 (様式1-1)	
1 法定協議会及び支援連携体制について	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策 (様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
2 歴史的風致維持向上地区計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 (様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物保存修理事業	4
2 歴史的建造物調査事業	5
3 観世音寺鐘楼保存修理事業	6
4 大宰府関連史跡整備事業	7
5 大宰府関連史跡環境整備事業	8
6 大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業	9
7 特別史跡水城跡保存修理整備事業	10
8 特別史跡水城跡環境整備事業	11
9 特別史跡大野城跡環境整備事業	12
10 史跡宝満山整備計画策定事業	13
11 歴史の散歩道環境整備事業	14
12 太宰府天満宮参道環境改善事業	15
13 小鳥居小路周辺環境改善整備事業	16
14 朱雀大路修景整備事業	17
15 日田街道修景整備事業	18
16 日吉神社通路環境整備事業	19
17 歴史的市街地の修景推進事業	20
18 歴史的市街地の緑化推進事業	21
19 四王寺山周辺環境整備事業	22
20 大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業	23
21 さいふまいの風景地環境整備事業	24
22 金掛け梅公園整備事業	25
23 苜萱の関跡環境整備事業	26
24 朱雀大路解説広場整備事業	27
25 筑前国分尼寺跡解説広場整備事業	28
26 御笠団印出土地解説広場整備事業	29
27 小町広場環境整備事業	30
28 大宰府跡ガイダンス施設等整備事業	31
29 都府楼交流施設整備事業	32
30 四王寺山の環境保存活用事業	33
31 門前町並み保存活用事業	34
32 太宰府市民遺産育成支援事業	35
33 民俗文化財調査普及事業	36
34 太宰府発見塾事業	37
35 太宰府の絵師関係資料調査普及事業	38
④文化財の保存又は活用に関する事項 (様式1-4)	
1 文化財の防災	39
2 文化財の保存・活用	40
⑤効果・影響等に関する報道 (様式1-5)	
1 新聞・テレビ	41
⑥その他 (効果等) (様式1-6)	
1 集客数等における効果	42
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	43

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
法定協議会及び支援連携体制について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	太宰府市歴史的風致維持向上協議会を中心として、計画推進に係る事項や計画変更の協議などを行う。本計画の事務局を都市計画課並びに文化財課が担い、事業担当課や文化財の所有者・管理者との連絡調整を行う。また、必要に応じて、太宰府市景観・市民遺産審議会などに対し計画の実施状況を報告し意見を求める。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は、法定協議会である歴史的風致維持向上協議会を2回(8/27、3/27)開催した。第1回会議では、今年度実施している事業の進捗状況の報告を行った。第2回会議では今年度の事業の進捗評価を行うと共に、次年度に実施する予定の歴史的風致維持向上計画の事業について報告し、意見をいただいた。 また、太宰府市景観・市民遺産審議会を1回(2/5)開催し、令和7年度の景観計画に関する状況報告、景観重要建造物の指定、次回のだざいふ景観賞について協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	委員や予算の関係上、会議の回数が少ないため、課題等があれば会議以外でも委員と連絡を取り合い、適切に事業が遂行できるよう意見を求めたいと考えている。		
状況を示す写真や資料等			
			
第1回歴史的風致維持向上協議会(8/27)			
			
第1回太宰府市景観・市民遺産審議会(2/5)			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和7年度
歴史的風致維持向上地区計画の活用		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	特別史跡大宰府跡や史跡大宰府学校院跡ならびに史跡観世音寺及び子院跡の南面に接する県道筑紫野一太宰府線沿線において、150㎡以内の店舗建築を可能とする歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的景観に配慮した店舗誘導を図っている。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			

平成28年7月より施行しているが、令和7年度も新たな専用店舗の認定は0件であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地区計画の立地が、天満宮参詣の帰路に位置していることや参道から約1.2kmの距離にあることなどから、観光客の集客が望める適地とは言い難い。北側に広がる史跡地の魅力向上を図りながら、長期的な視点で観察し対応していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

◀ 観世音寺地区歴まち地区計画の概要 ▶

太宰府市では、新しい地区計画として「観世音寺地区歴史的風致維持向上地区計画」(通称：観音寺町町並み地区計画)を定めました。

本歴まち地区計画は、大宰府政庁跡や観音寺、戒壇院などの文化遺産を活かして、観音寺を地区の中心性とするため、美観の保ちやすくなる専用店舗の立地を可能とする用途規制の地区計画です。用途の緩和とともに、歴史的な風情を高めつつ、周辺の住宅地環境を守りつづけるよう、建築物の屋敷地高の制限等についてもルールを定めています。

対象区域内で建築物の設置等を行う場合、あらかじめ市に出発を行い、建築性等の取扱いが地区計画に適合しているかの確認が必要となります。



【建築物の用途の制限の緩和】

兼用住宅で、店舗面積が50㎡以内かつ延べ面積の1/2以内の店舗のみ立地可能でした。



→



喫茶店、うどん・そば店を主とする延べ面積150㎡以内の専用店舗も立地可能になりました。

【屋外広告物の形態意匠の制限】

大きく派手な広告物も設置可能



→




現状の広告物景観を守り、信号が立地しても派手な広告物が風立しないようルールを定めました。

観音寺地区歴まち地区計画の目標

【地区計画の目標】




- 良好な低層住宅地環境の保全
- 古都太宰府を象徴する文化遺産を活かした歴史・観光核の形成

【まちなみ形成のイメージ】



【問い合わせ先】 太宰府市建設部計画課 地区計画課 都市計画係
 〒818-0198 福岡県太宰府市観音寺一丁目1番11号
 Tel: 092-921-2121 Fax: 092-921-1601



評価軸 3-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	太宰府天満宮門前の歴史的な家屋や市内に点在する社寺建築、ならびに宝満山をはじめとする市域の維持向上すべき歴史的風致に資する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理等に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内にある歴史的風致形成建造物候補から保存修理に合わせ順次指定を行い、毎年2件の保存修理を実施する計画としている。 令和7年度は新町に所在する歴史的風致形成建造物1件(高田家住宅、江戸末期建築)の保存修理を実施した。保存修理では外壁の修理・土間の復元等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	個人所有の建造物については、所有者の意向に左右されるため、予算措置が計画的にできないことがある。また、国からの補助金の低下により、安定的に補助できるか不透明な状況を加味しながら、所有者と協議を進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
		(修理前)	
		(修理後)	
高田家住宅			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物を計画的に調査することでその価値を明確にする。また、痕跡や関係資料の調査を行い、市内にある歴史的建造物の特性を把握することで、保存修理において旧状に復する際の必要な情報収集を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
R7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査が必要と考えられる歴史的建造物の所有者に対し、早期に協議を進め計画的に調査が実施できるよう努める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観世音寺鐘楼保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和6年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 鐘楼は、昭和20年代に現在地に移設され、国宝の梵鐘を吊るしているが、鐘楼や基壇の石積みに歪みが生じていることから、鐘楼や石積みの修理を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は事業を実施していない。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	梵鐘の今後の保存等の方針が決まっていないため、事業が進展していない。今後も所有者の意向を踏まえ、文化財部局と協議しながら検討していく。
--	---

状況を示す写真や資料等

R7年度の事業なし

評価軸 3-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
大宰府関連史跡整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和7年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大宰府政庁跡とその周辺一帯について、遺構保存修理と共に再整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

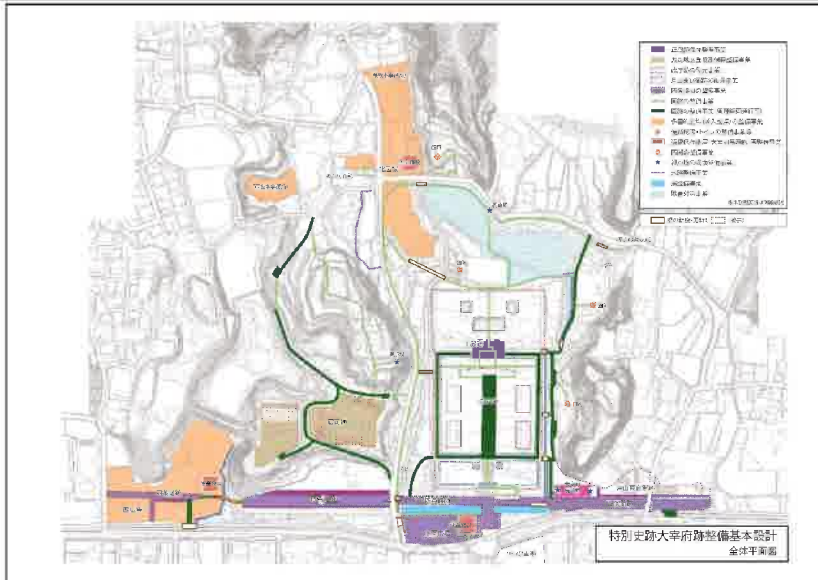
令和6年度に策定した特別史跡大宰府跡整備基本計画に基づき、令和7年度は特別史跡大宰府跡整備基本設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

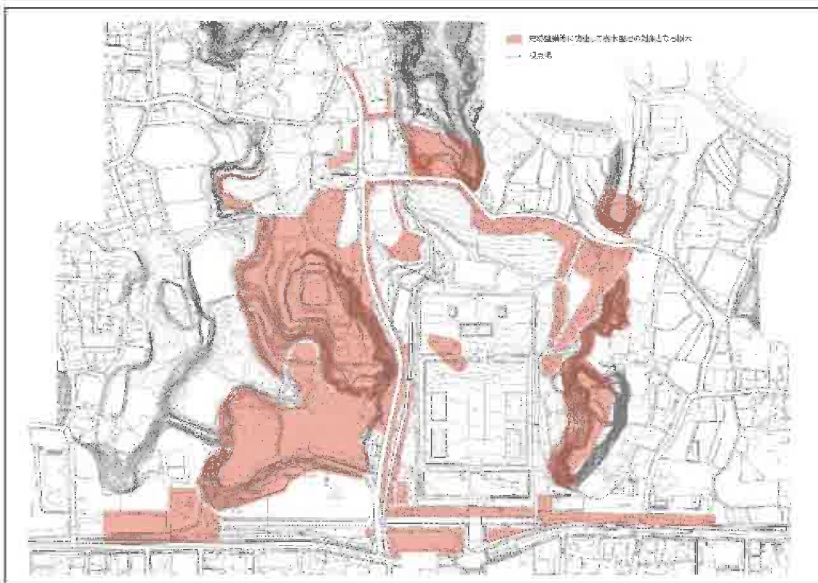
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度には特別史跡大宰府跡整備実施設計と遺構確認のためのレーダー探査および発掘調査を実施し、令和9年度から工事を実施していく予定である。

状況を示す写真や資料等



基本設計平面図



樹木整理範囲図

評価軸 3-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和8年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府跡・学校院跡・筑前国分寺跡などの大宰府関連史跡周辺の樹木を整理し、万葉の時代に愛でられていた梅などを植栽し、散策路・水路・広場・休憩施設等の環境改善整備を実施する。実施にあたってはユニバーサルデザイン化を進め、多様な人々に対応する史跡環境の改善を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度に策定した特別史跡大宰府跡整備基本計画に基づき、令和7年度は特別史跡大宰府跡整備基本設計を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特別史跡大宰府跡整備基本計画・整備基本設計に基づき、順次事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> R7年度は現場事業なし </div>			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府関連史跡とは、市内に所在する8つの史跡で、そのうち保存活用計画が策定されていない特別史跡大野城跡・水城跡、史跡観世音寺境内及び子院跡・筑前国分寺跡・国分瓦窯跡・大宰府学校院跡の保存活用するための計画を策定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大野城跡については県が主体となり令和7～9年度で特別史跡大野城跡保存活用計画の策定を進めている。令和7年度は県による大宰府史跡調査研究指導委員会保存活用部会が2回、県と関係市町（大野城市・太宰府市・宇美町）での検討会が令和8年2月末までで4回開催された。また、水城跡については大野城市と共に水城跡整備事業推進協議会にて保存活用計画策定に向けた準備作業に着手し、令和7年度は作業部会を2回実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特別史跡大野城跡に関しては福岡県が主体となり令和7～9年度に保存活用計画の策定を行う。今後は、残る5史跡の保存活用計画を計画的に策定する必要があり、他市町に跨る史跡もあるため、関係市町及び福岡県と連携を十分に図り、事業を実施していく必要がある。		

状況を示す写真や資料等



大野城跡保存活用計画検討会



水城跡整備事業推進協議会

評価軸 3-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
特別史跡水城跡保存修理整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和14年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業補助金

計画に記載している内容 風雨による長年の損傷個所の修理、修復を行う。また遺跡に影響を与える樹木などの間伐といった計画的な緑の維持管理を実施する。併せて広場、サイン、便所、四阿、園路などの環境整備を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

水城跡(約10ha)について、樹木の繁茂、豪雨による法面崩壊等の自然的要因、また、人の通行による踏圧によって、土塁など遺跡そのものの劣化が進行している。このため、現状より悪化しないよう遺構の修理を実施し、また、環境整備を行うことで、史跡に触れる機会の充実を図る。令和6年度は、便益施設水城館が開館して8年目にあたる。来館者数は初年度から令和元年度までは12,000人を超える多くの方に継続的に好評を得た。その後はコロナ禍の影響もあり、令和2年度は6,433人、令和3年度は5,874人であったが、令和4年度は9,984人、令和5年度は8,357人、令和6年度は8,678人と回復傾向である。令和7年度事業は水城跡西側丘陵部の樹木整理等工事(対象面積745㎡)を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

樹木整理は隣接する民家に影響を及ぼす恐れのある大木・高木を中心に剪定・伐採を行った。特別史跡水城跡は隣接する大野城市との連携を十分に図り、整備を実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



事業実施前



事業実施後



事業実施前



事業実施後

評価軸 3-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
特別史跡水城跡環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	特別史跡水城跡東門跡は、古代からの玄関口であり、さいふまいの参詣道である日田街道が縦断する。一方で、県道112号が縦断する箇所には、電線が景観を害するように縦横に敷設されており、景観改善のための周辺一帯の環境整備を実施する。また、御笠川によって東西の往来を妨げている区間について、アクセス路を整備し、水城跡の東西散策への便益向上を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財部局や道路関係部局等と協議を重ね、事業実施に向けて検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
特別史跡大野城跡環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和14年度		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備		
計画に記載している内容	平成20年(2008)度から実施している土塁の環境整備について、今後は増長天西側土塁修理および環境整備、増長天礎石群の環境整備を実施し、順次、土塁、石塁、礎石群の環境整備を実施する。また、追加指定された原山地区の解説広場などの環境整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
福岡県文化財保護課では、平成20年度から増長天地区の整備に着手しており、令和7年度は増長天地区の園路整備及びイノシシにき損された内周土塁の保存修理を行った。イノシシによるき損は近年顕著となっており、獣害対策用の張芝を用いて施工した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業主体の福岡県や、県が設置している大宰府史跡調査研究指導委員会整備部会などとも連携し、史跡の適切な保存と効果的な活用を図るため、整備を進めていく。		

状況を示す写真や資料等



施工状況

評価軸 3-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
史跡宝満山整備計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和10年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	史跡の保存と活用を適切に行うため、文化財の調査成果はもちろん、防災・減災の観点に基づき、史跡が跨いでいる筑紫野市と連携しながら、整備計画を策定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡が2市に跨り、かつ民有地が多く含まれるため、関係機関や地権者との十分な協議が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史の散歩道環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和11年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史の散歩道は、太宰府天満宮から水城跡までに点在する「さいふまいり」の名所を、歴史的風致を感じながら散策できる道路で、劣化した道路の改修や安全性に配慮した散策路の拡幅、そして附帯する防護柵・カーブミラーなどを景観に配慮したものに更新する。また、散策環境向上のため水辺環境や休憩施設などの整備を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は事業を実施していない。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在まで散歩道の付帯施設の修景を実施してきたが、散歩道の全体的な整備方針が定まっていないため、令和8年度以降に基本設計を行う予定で、安全で良好な散策環境の整備を目指す。

状況を示す写真や資料等



歴史の散歩道(青色破線)

R7年度の事業なし

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
太宰府天満宮参道環境改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和7年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 太宰府天満宮参道は、平成の初めに無電柱化などの環境整備事業を実施したが、事業から30年以上が経過し、路面の石畳やタイルの傷みが目立ちはじめ、参道景観に影響が出てきており、それらの改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、参道西側について施工した。施工内容は石畳が傷んでいる車道を半たわみ舗装(石畳風)、瓦敷が傷んでいる歩道をストリートプリントで行い、あわせて街路樹の撤去、トランスや道路付帯物の修景等を行った。車両や観光客の通行がスムーズになると共に、街路樹を除去したことで、参道の見通しがよくなり、参道景観の向上につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今回施工した区間の東側参道については、地元や関係機関と協議を重ね、事業実施の可否や実施内容等について、協議・検討していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸 3-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
小鳥居小路周辺環境改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和10年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小鳥居小路から宰府宿の入口のひとつである溝尻口までの道路について、沿道にある地域活性化複合施設「太宰府館」や水路等を活かした環境整備を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	対象地である小鳥居小路や太宰府館一带の活用状況を踏まえ、有効な事業展開を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和8年度
項目		現在の状況	
朱雀大路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 県事業として整備が進められている県道観世音寺二日市線の道路について、整備事業と連動し、神幸式の経路のどんかん道である古代の朱雀大路を顕在化する。また、さいふまいの名所「幸橋」の顕在化も図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、当初実施を予定していたが、国庫補助金の低下により、事業実施を見送った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和8年度以降に適切に実行できるよう国庫補助を要望し、早急に事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



事業平面図



事業予定地

評価軸 3-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
日田街道修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和9年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	街道沿いに設置している防護柵・カーブミラー等を景観に配慮したものに改修する。また、国分地区については、かつてあった松並木を復元する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は、当初実施を予定していたが、国庫補助金の低下により、事業実施を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度以降も、建設部局と協議を重ねながら順次事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
日吉社通路環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和6年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史の散歩道から日吉神社までの市道の美装化を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史の散歩道と接続する関係もあり、散歩道整備事業との連動を考慮し、R6年度からの事業実施を先送りとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史の散歩道環境整備事業の進行状況を踏まえながら事業実施を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的市街地の修景推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致やまち並みを阻害している建築物等の修景や除却を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度の実施件数は0件であった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

修景補助対象路線沿いの所有者について、計画的かつ効果的な事業が実施できるよう、事業の周知を計画的に行っていきたいが、補助金交付率が安定していないため、積極的な周知が行えていない。

状況を示す写真や資料等

R7年度の事業なし

評価軸 3-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的市街地の緑化推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致を損ねている沿道環境などの緑化修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度の事業実施件数は0件であった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

緑化補助対象路線沿いの建て替えに伴う外構の時期と補助金交付手続きのタイミングが合わなく、補助金を使わないことが多いが、所有者の協力いただき、景観計画の緑化基準どおりに緑化が行われている。

状況を示す写真や資料等

歴史的市街地緑化推進事業補助対象範囲



対象路線図

評価軸 3-19 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
四王寺山周辺環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	四王寺山南麓の森林や「市民の森」に進行している竹林を伐採しながら、計画的に樹木の伐採・剪定などの環境整備を行う。また、森林内に設置されているベンチや案内板などの施設を改修する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
太宰府市民の森内の老朽化した施設の改修工事(車止めポールの改修、園路の舗装)及び樹木整理工事を福岡県の展示林整備事業にて本工事を実施した。(3月末終了予定)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も市民団体と協力・連携し、森林環境譲与税や展示林整備事業を活用した計画的な整備を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	大宰府関連史跡や史跡宝満山に、来訪者を誘導する案内板や誘導板を設置する。また、既設の老朽化した誘導板や解説板をユニバーサルデザイン化した解説板に更新する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未設置の解説板・誘導板、老朽化した解説板・誘導板があるため、史跡整備計画や保存活用計画に基づき、設置、改修を実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-21 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
さいふまいの風景地環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	さいふまいの風景地であった思川・岩踏川(御笠川)、白川(鷺田川)、藍染川沿岸の防護柵・カーブミラーや散策路などを景観に配慮したものに改修する。また、河川に架かる橋梁の欄干などの塗装補修を実施する。さらに、岩踏川の由来となった岩盤の顕在化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建設部局や那珂県土整備事務所等と調整しながら、事業の実施を検討していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
金掛け梅公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和7年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中世の金掛け梅伝承地において、神幸式大祭ならびにさいふまいるの歴史的風致を向上するための解説板やベンチの整備、樹木の剪定を行い、オープンスペースとして公園整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	対象地周辺の利活用を踏まえ、事業内容や実施時期について、地元や関係機関と十分協議を重ねていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-23 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
苧萱の関跡環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和9年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	苧萱関跡に四ヶ国語対応の解説板を設置すると共に、前面の道路部分の路面を修景し、苧萱関跡を顕在化させる。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建設部局等と協議を行いながら、事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
朱雀大路解説広場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和6年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	古代の朱雀大路を踏襲する県道観世音寺二日市線の拡幅工事に伴う残地を朱雀大路の解説広場に整備し、解説板やベンチなどを設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	用地買収等が進んでおり、今後建設部局や文化財部局と協議を重ね事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
筑前国分尼寺跡解説広場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和12年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	筑前国分尼寺跡の一角に解説広場を整備し、周辺で出土した礎石を移設し、解説板を設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後予定地を選定し、地元や文化財部局と協議を重ねながら、事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
御笠団印出土地解説広場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和10年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	御笠団印出土地周辺を解説広場として整備し、解説板の改修を行い、ベンチ等を設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	隣接している歴史の散歩道整備事業の進捗を踏まえながら、所有者と協議を重ね、事業実施を検討していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
小町広場環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和13年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小町広場を多目的に利用できるよう広場内や出入口を改修する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域住民等と協議しながら、有効な事業実施を検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
大宰府跡ガイダンス施設等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和12年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	特別史跡大宰府跡周辺に、大宰府関連史跡を身近に感じることができるガイダンス施設を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	大宰府史跡の整備計画を踏まえ、文化財関係部局をはじめとする関係機関で協議しながら、有効な事業実施に向けて検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
都府楼交流施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和13年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府跡周辺に大宰府関連史跡に携わる史跡解説員や史跡を管理する人たち等が集い交流を深める施設を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	大宰府史跡の整備計画を踏まえながら、解説員や地元の人々と協議を重ね事業実施を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-30 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
四王寺山の環境保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	四王寺山の自然環境の維持向上に資する民間活動の育成。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、子どもたちの自然・森林への関心を育てるとともに、保護者世代にも「森林整備の必要性」を伝え、森林資源の価値を身近に実感することで将来的な森林保全の担い手育成のきっかけづくりとして、市民の森の伐採木を使ったものづくりの体験学習(サイン板の設置)をまほろば自然学校に委託して実施した。2/22開催9組16名が参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民の森の伐採木を活用した取組は、資源の循環利用や環境意識の向上につながる一方、活用方法や維持管理の工夫が課題である。今後は利活用の幅を広げながら、市民の森の利用者の利便性向上と資源循環の取組を継続していく。		
状況を示す写真や資料等			
		作業前	
		作業状況	

評価軸 3-31 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
門前町並み保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	まち並み環境の維持及び向上に資する活動の検討および民間活動団体の育成。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
「太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会」は、歴史的まちなみを維持形成するための地区のルールづくりや、建築物の修景基準の検討などを行うための協議会として立ち上げ活動を始めている。令和4～5年度にかけては、2期計画実施にあたり、課題抽出のための協議を行い、令和6年度からは行政や補助金に頼らない活動を実施していくことになっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	協議会として補助金に頼らない活性化の取り組みを検討しており、行政としてはできる範囲で協力していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 3-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
太宰府市民遺産育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)

計画に記載している内容 太宰府市民遺産普及のための活動支援、解説リーフレット等の作成や映像記録を行うほか、ホームページによる情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観・市民遺産会議運営会議を3回開催したことに加え、普及イベント「市民遺産フェスタ2026」を実施し、新しい市民遺産が認定された。また、市内でパネル展示をおこなった他、市民遺産をテーマにした子ども学生美術展を実施し、154点の応募があった。昨年同様、応募作品は地元大学主催のイベントでTシャツアートして活用されるなど、大学と連携した取り組みも継続できた。これらについては、市民遺産ポータルサイト(HP)で適時、情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民の市民遺産に対する認知度をさらに向上させ、文化財・文化遺産を守り育てることが豊かな生活につながるという意識を醸成させる必要がある。地元の学校との連携をさらに進めたい。

状況を示す写真や資料等



市民遺産パネル展示 [太宰府市役所]



市民遺産パネル展示 [いきいき情報センター]



太宰府市民政庁まつり



だざいふ物語り



令和の都 子ども学生美術展



だざいふ景観・市民遺産フェスタ2026

評価軸 3-33 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
民俗文化財調査普及事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和6年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な祭事・行事や伝統技術・産業など、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、有形・無形の民俗文化財の調査を実施し、リーフレット等の刊行物の作成や映像記録等の作成を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当初は令和6年度開始予定であったが、本計画をはじめとする事業調整を行い、令和9年度より隔年で実施する予定である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸 ③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
太宰府発見塾事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	市民ボランティアを募集し、過去に行った文化遺産調査の追跡調査を実施する。あわせて地域の歴史文化の講座や文化遺産の活動団体による講座を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和7年度より事業を再開予定である。文化遺産の初期の調査事業から20年近い時間が経過していることから、過去に調査した文化遺産の現状把握が必要である。また、文化遺産調査の未実施地域もあることから、調査を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">R7年度の事業なし</div>			

評価軸③-35

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
太宰府の絵師関係資料調査普及事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和6年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	近世・近代とさいふまいの名所や恵比寿神を描いてきた太宰府の町絵師の資料を調査し、展示や出前講座などの普及啓発活動を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・太宰府の町絵師資料を200点以上調査した。 ・調査資料を「まるごと太宰府歴史展」で展示し、市民への普及啓発をおこなった。 ・普及啓発広報誌『宰府画報』を年4回刊行し、太宰府の町絵師や関連する名所や名物を紹介した。 ・絵師調査事業を紹介するパネル展を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	資料調査と普及活動を継続し、太宰府の歴史的風致に関する意識を高めていく。		

状況を示す写真や資料等



絵師調査事業パネル展示



「まるごと太宰府歴史展2025」資料展示状況



調査資料の一部



『宰府画報』第29号

評価軸 4-1
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 防災・防犯など文化財を取り巻くリスクを把握し、予防策を計画的に取り組む。また、文化財の管理施設については予防査察を実施したり、消火設備の設置を推進していく。また、防災意識向上を図るため、消防訓練や防災・防犯の対策の大切さを伝える広報・普及活動に取り組んでいく。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの期間中に、市内の文化財保管施設を中心として、防火意識の再確認ならびに防火意識の向上を図ることを目的として、消防本部、消防署と連携し消防査察及び消防演習を実施した。令和8年1月13日～15日に、市内の文化財関係施設8ヶ所の消防査察を実施し、1ヶ所で消防演習を行った。また、文化財防火デーの期間中は市庁舎に懸垂幕を掲示したほか、各施設に立看板とポスターを設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	例年、文化財防火デーに合わせ、市内にある文化財所蔵施設の消防査察を実施し、市内文化財所蔵施設にて、消防演習を実施している。引き続き文化財保存のための機器点検・防災意識向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



消防査察



文化財防火デー懸垂幕



消防演習



文化財愛護防火パレード

評価軸 4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
文化財の保存・活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市内に豊富にある文化財とその調査情報を市民に還元するため、史跡整備や展示、ホームページの利用など様々な形での普及啓発や情報発信に取り組み、市民が文化財に親しむ機会の充実に努める。また、伝統文化の担い手の発掘・育成を見据え、文化遺産に関わる人材育成へつながるような取り組みを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市指定文化財候補1件について、文化財専門委員会で審議し、市指定文化財に指定した。
- ・文化財の普及啓発のための出前授業や講座、イベントを24回実施した。
- ・まるごと太宰府歴史展を実施し、普及啓発を進めた。来場者数：1,419名
- ・市内関連文化財3Dデータを公開し、複製資料を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

今後も展覧会や講座を軸に普及啓発を進め、3Dデータの公開件数も増やしていく。

状況を示す写真や資料等



まるごと太宰府歴史展ギャラリートーク



まるごと太宰府歴史展ギャラリートーク



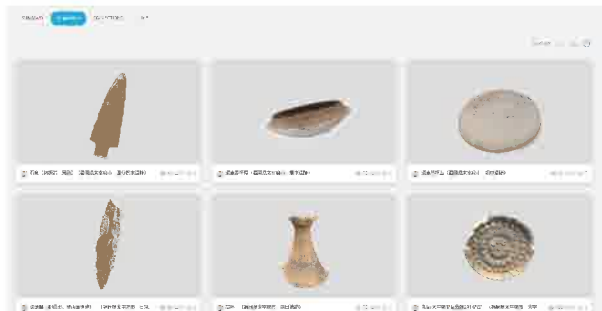
まるごと太宰府歴史展イベント



新指定文化財「蔵骨器(灰釉陶器短頸四耳壺)」



3Dデータを活用した複製文化財



市内関連文化財3Dデータのインターネット公開

評価軸 5-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
水城土塁てっぺん鮮明に	令和7年4月2日	西日本新聞朝刊	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特別史跡水城跡保存修理整備事業について福岡都市圏の人々に広く周知できた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も積極的に情報発信に努める。

状況を示す写真や資料等

項目

集客数等に見る効果

歴史的風致維持向上計画の実施により、本市が持ち得ている魅力を向上させ、市民の歴史的風致に対する認識や愛着が深まることが期待でき、市内の人々に太宰府市固有の情緒や風情を伝えることができる。さらに、来訪者の回遊性を高め、市内の滞在時間を伸ばすと共に、市民に日々の散策地を提供することができ、市民満足度の向上などが期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

太宰府市には太宰府天満宮を中心に多くの観光客が訪れている。太宰府天満宮から離れた場所に位置する文化財関連施設の令和7年度の集客数は、文化ふれあい館入館者数19,598人、水城館入館者10,104人、大宰府政庁前バス駐車場の駐車台数は322台であった。太宰府市を訪れる観光客の状況を見ると、コロナ禍の影響はなくなっていると推測され、各施設の入館者状況も落ち着きつつあるが微増している。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

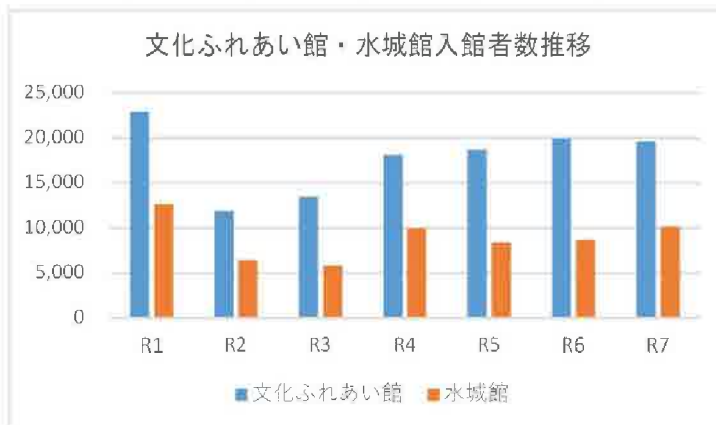
太宰府市への観光客は、太宰府天満宮界隈を中心に訪れているが、周辺への回遊性は不十分である。歴史的風致維持向上計画の事業を進めているが、劇的な変化はみられない。今後も事業を進め、地域の魅力アップによる回遊性の向上に繋げていきたいと考えている。

状況を示す写真や資料等

文化ふれあい館・水城館入館者数

単位：人

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
文化ふれあい館	22,924	11,885	13,501	18,088	18,701	19,954	19,598
水城館	12,642	6,433	5,874	9,981	8,357	8,648	10,104



大宰府政庁前バス駐車場利用台数

単位：台

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用台数合計	2,665	180	363	220	328	312	322



法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:令和7年度第2回太宰府市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:令和8年3月27日(金)	
(コメントの概要)	
・観世音寺地区歴史的風致維持向上地区計画について、知らない地元の商業者が多い。現在その地域では観世音寺や史跡地を盛り上げようとする動きが活発化している。周知するにはちょうど良い時期ではないか。	
・史跡地への誘客のためには、まず五条や観世音寺への誘客が必要ではないか。	
・大宰府政庁前バス駐車場や史跡地などにキッチンカーを出店させるのは良いが、景観的なことを考慮すると、どんなものでも良いというわけにはいかない。	
・大宰府政庁前駐車場を無料化しても駐車利用者が増えるとは思わない。	
	
令和7年度第2回太宰府市歴史的風致維持向上協議会の様子	
(今後の対応方針)	
・太宰府天満宮参道事業の残りの事業については、太宰府天満宮をはじめ関係機関、関係部署と協議を重ね、今後の事業内容を検討する。	
・政庁前バス駐車場については、史跡地全体の整備計画を検討するなかで、どう位置付けるべきか検討していく。	